

## 第2章 看護師長調査

### I. 回答者の属性

#### 1. 回答者の属性

##### 1) 年齢と性別

回答の得られた19病院の看護師長409名について、年齢・性別を表I-1-1)に示した。

表I-1-1) 年齢・性別

	女性	男性	無回答	合計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
30-35 歳未満	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)
35-40 歳未満	13 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	13 (100.0)
40-45 歳未満	64 (95.5)	3 (4.5)	0 (0.0)	67 (100.0)
45-50 歳未満	100 (98.0)	2 (2.0)	0 (0.0)	102 (100.0)
50-55 歳未満	137 (97.9)	3 (2.1)	0 (0.0)	140 (100.0)
55-60 歳未満	61 (98.4)	1 (1.6)	0 (0.0)	62 (100.0)
60-65 歳未満	16 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (100.0)
無回答	5 (62.5)	0 (0.0)	3 (37.5)	8 (100.0)
合計	397 (97.1)	9 (2.2)	3 (0.7)	409 (100.0)

## 2) 経験年数・勤続年数・現在の看護単位での看護師長歴

看護職としての経験年数、現在の病院での勤続年数、現在の看護単位での看護師長歴にすべて記入した 395 名について、それぞれの平均年数を年齢階級別に表 I - 1 - 2) に示した。

表 I - 1 - 2) 経験年数・継続年数・現在の看護単位での看護師長[年齢階級別]

	看護職としての 経験年数	現在の病院での 勤続年数	現在の看護単位で の看護師長歴	回答者数
	平均 (SD)	平均 (SD)	平均 (SD)	件数
30-35 歳未満	13.8 -	13.8 -	0.8 -	1
35-40 歳未満	16.7 ( 1.5)	14.9 ( 5.1)	2.1 ( 1.6)	13
40-45 歳未満	21.2 ( 1.7)	19.8 ( 4.0)	2.3 ( 1.6)	67
45-50 歳未満	25.6 ( 2.6)	23.4 ( 6.1)	2.8 ( 2.4)	102
50-55 歳未満	30.0 ( 2.9)	27.1 ( 7.2)	3.4 ( 2.7)	136
55-60 歳未満	35.4 ( 2.4)	32.2 ( 7.0)	3.8 ( 3.3)	61
60-65 歳未満	38.1 ( 3.5)	33.2 ( 6.2)	5.7 ( 3.6)	15
合計	28.0 ( 5.9)	25.5 ( 7.8)	3.2 ( 2.7)	395

看護職としての平均経験年数は 28.0 年、現在の病院での平均勤続年数は 25.5 年、現在の看護単位での平均看護師長歴は 3.2 年となっていた。

## 2. 回答者が勤務している看護単位

### 1) 看護単位の病床数

看護単位の病床数、在院患者数、看護職員の人数すべてに回答した 347 名について、看護単位の病床数を表 I-2-1) に示した。

表 I-2-1) 看護単位の病床数

	20 床未満	20-30 床 未満	30-40 床 未満	40-50 床 未満	50 床以上	合計
件数	39	26	49	137	96	347
(%)	(11.2)	(7.5)	(14.1)	(39.5)	(19.9)	(100.0)

### 2) 看護単位の患者／看護職員比率

看護単位の病床数、在院患者数、看護職員の人数すべてに回答した 347 名について、2011 年 1 月 15 日の 9 時と 23 時の患者数を看護職員数で除した患者／看護職員比率（看護師 1 人当たりの受け持ち患者数）を表 I-2-2) に示した。

表 I-2-2) 患者／看護職員比率

		三交代制 (変則含む)	二交代制 (変則含む)	三交代制・二交代制 のミックス	全体
	件数 (%)	134 (38.6)	159 (45.8)	45 (13.0)	347 (100.0)
患者 看護 比率	9 時 平均 (SD)	4.7 (2.7)	3.7 (1.6)	4.0 (2.2)	4.1 (2.2)
	23 時 平均 (SD)	8.6 (4.1)	9.2 (3.7)	8.8 (4.2)	8.9 (3.9)

高度救命救急センターを有する病院の 9 時と 23 時における患者／看護職員比率はそれぞれ 4.1 人、8.9 人となっていた。

### 3) 患者受け入れ状況

#### (1) 看護単位の平均在院患者数

回答者全員について、看護単位の平均患者数を表 I-2-3)-(1)に示した。

表 I-2-3)-(1) 看護単位の平均患者数

	20人未満	20-30人未満	30-40人未満	40-50人未満	50人以上	無回答	合計
件数 (%)	57 (13.9)	42 (10.3)	113 (27.6)	122 (29.8)	22 (5.4)	53 (13.0)	409 (100.0)

平均患者数は「20人未満」13.9%、「20-30人未満」10.3%、「30-40人未満」27.6%、「40-50人未満」29.8%、「50人以上」5.4%となっていた。

#### (2) 看護単位の平均在院日数

回答者全員について、看護単位の平均在院日数を表 I-2-3)-(2)に示した。

表 I-2-3)-(2) 看護単位の平均在院日数

	10日未満	10-20日未満	20-30日未満	30-40日未満	40日以上	無回答	合計
件数 (%)	78 (19.1)	183 (44.7)	63 (15.4)	14 (3.4)	25 (6.1)	46 (11.2)	409 (100.0)

平均在院日数は「10日未満」19.1%、「10-20日未満」44.7%、「20-30日未満」15.4%、「30-40日未満」3.4%、「40日以上」6.1%となっていた。

#### (3) 看護単位の平均入院件数

患者の受け入れ状況に関する設問に回答した者について、看護単位の1か月間の平均入院件数、平均緊急入院件数、夜間の平均緊急入院件数を表 I-2-3)-(3)に示した。

表 I-2-3)-(3) 看護単位の平均入院件数

平均入院件数		平均緊急入院件数		夜間の平均緊急入院件数	
	件数 (%)		件数 (%)		件数 (%)
20件未満	33 (9.9)	10件未満	134 (40.2)	5件未満	200 (60.1)
20-40件未満	38 (11.4)	10-20件未満	94 (28.2)	5-10件未満	62 (18.6)
40-60件未満	69 (20.7)	20-30件未満	40 (12.0)	10-15件未満	28 (8.4)
60-80件未満	80 (24.0)	30-40件未満	23 (6.9)	15-20件未満	9 (2.7)
80-100件未満	48 (14.4)	40-50件未満	9 (2.7)	20-40件未満	16 (4.8)
100件以上	65 (19.5)	50件以上	33 (9.9)	40件以上	18 (5.4)
合計	333 (100.0)	合計	333 (100.0)	合計	333 (100.0)

## Ⅱ. 看護単位の看護職の状況

### 1. 看護職の人数

正規職員と非正規職員について、看護単位の看護職員の実人数および常勤換算数を表Ⅱ-1に示した。

表Ⅱ-1 看護職員の実人数[フルタイム勤務・短時間勤務]

	正規社員			非正規職員		
	フルタイム	短時間		フルタイム	短時間	
	実人数	実人数	常勤換算	実人数	実人数	常勤換算
件数	398	228	152	178	185	135
平均	30.4	0.8	0.5	0.7	0.9	0.5
(SD)	(13.5)	(1.2)	(0.9)	(1.5)	(2.0)	(1.1)

### 2. 看護職員の年齢

#### 1) 看護職員の各年代の割合

性別および年齢階級別の正規職員人数を回答した者について、管理している看護単位の看護職員の各年代の割合を表Ⅱ-2-1)に示した。

表Ⅱ-2-1) 看護職員の各年代の割合

	10%未満	10-20%未満	20-30%未満	30-40%未満	40-50%未満	50-60%未満	60-70%未満	70-80%未満	80-90%未満	90-100%	合計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
20-30歳未満	4 (1.2)	11 (3.4)	14 (4.3)	41 (12.7)	61 (18.8)	72 (22.2)	65 (20.1)	44 (13.6)	12 (3.7)	0 (0.0)	324 (100.0)
30-40歳未満	14 (4.3)	79 (24.4)	111 (34.3)	76 (23.5)	32 (9.9)	7 (2.2)	1 (0.3)	2 (0.6)	2 (0.6)	0 (0.0)	324 (100.0)
40-50歳未満	135 (41.7)	126 (38.9)	47 (14.5)	12 (3.7)	3 (0.9)	1 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	324 (100.0)
50-60歳未満	241 (74.4)	52 (16.0)	27 (8.3)	3 (0.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	324 (100.0)
60歳以上	322 (99.4)	2 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	324 (100.0)

### 3. 看護職の休職状況

性別および年齢階級別の正規職員人数を回答した者について、正規職員に占める産休人数、育休人数、それ以外の休職人数、長期研修人数、休職者人数計の割合を表Ⅱ-3に示した。

表Ⅱ-3 正規職員に占める産休、育休、それ以外の休職、長期研修の割合

	0%	2%未満	2-4%未満	4-6%未満	6-8%未満	8-10%未満	10%以上	無回答	合計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
産休人数/正規職員	262 (80.9)	2 (0.6)	31 (9.6)	11 (3.4)	6 (1.9)	2 (0.6)	0 (0.0)	10 (3.1)	324 (100.0)
育休人数/正規職員	286 (88.3)	3 (0.9)	18 (5.6)	6 (1.9)	1 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (3.1)	324 (100.0)
それ以外の休職人数/ 正規職員	277 (85.5)	5 (1.5)	23 (7.1)	5 (1.5)	2 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	12 (3.7)	324 (100.0)
長期研修人数/ 正規職員	299 (92.3)	2 (0.6)	9 (2.8)	2 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	12 (3.7)	324 (100.0)
休職者人数計/ 正規職員	210 (64.8)	5 (1.5)	54 (16.7)	22 (6.8)	11 (3.4)	7 (2.2)	3 (0.9)	12 (3.7)	324 (100.0)

### 4. 平均勤続年数

回答者全員について、管理している看護単位に所属する看護職の平均勤続年数を表Ⅱ-4に示した。

表Ⅱ-4 看護職の平均勤続年数

	3年未満	3-6年未満	6-9年未満	9-12年未満	12-15年未満	15年以上	無回答	合計
件数 (%)	7 (1.7)	104 (25.4)	131 (32.0)	57 (13.9)	39 (9.5)	24 (5.9)	47 (11.5)	409 (100.0)

平均勤続年数は「3年未満」が1.7%、「3-6年未満」25.4%、「6-9年未満」32.0%、「9-12年未満」13.9%、「12-15年未満」9.5%、「15年以上」5.9%となっていた。

### 5. 常勤看護職員の離職率

回答者全員について、各看護単位の常勤看護職員の離職率を表Ⅱ-5に示した。

表Ⅱ-5 常勤看護職員の離職率

	0%	5%未満	5-10%未満	10-15%未満	15-20%未満	20%以上	無回答	合計
件数 (%)	59 (14.4)	77 (18.8)	99 (24.2)	78 (19.1)	43 (10.5)	26 (6.4)	27 (6.6)	409 (100.0)

看護単位の常勤看護職員の離職率は「0%」が14.4%、「5%未満」18.8%、「5-10%未満」24.2%、「10-15%未満」19.1%、「15-20%未満」10.5%、「20%以上」6.4%となっていた。

### Ⅲ. 看護職員の労働状況

#### 1. 時間外労働時間数

回答者全員について、各看護単位の2010年11月1か月間の時間外労働時間数の平均を表Ⅲ-1に示した。

表Ⅲ-1 時間外労働時間数

	5時間未満	5-10時間未満	10-15時間未満	15-20時間未満	20時間以上	無回答	合計
件数 (%)	120 (29.3)	108 (26.4)	85 (20.8)	44 (10.8)	27 (6.6)	25 (6.1)	409 (100.0)

時間外労働時間数は「5時間未満」が29.3%、「5～10時間未満」26.4%、「10～15時間未満」20.8%、「15～20時間未満」10.8%、「20時間以上」6.6%となっていた。

#### 2. 正規看護職員の年次有給休暇の取得率

回答者全員について、各看護単位の正規看護職員の2009年度の年次有給休暇の取得率を表Ⅲ-2に示した。

表Ⅲ-2 正規看護職員の年次有給休暇の取得率

	0-10%未満	10-20%未満	20-30%未満	30-40%未満	40-50%未満	50-60%未満	60-70%未満	70-80%未満	80-90%未満	90-100%	無回答	合計
件数 (%)	30 (7.3)	41 (10.0)	65 (15.9)	69 (16.9)	69 (16.9)	29 (7.1)	29 (7.1)	12 (2.9)	16 (3.9)	14 (3.4)	35 (8.6)	409 (100.0)

年次有給休暇の取得率は「30-40%未満」「40-50%未満」が16.9%と最も多く、次いで「20-30%未満」15.9%となっていた。

## IV. 夜勤・交代制勤務の状況

### 1. 夜勤・交代制勤務の勤務形態

回答者全員について、管理している看護単位の夜勤・交代制勤務の勤務形態を表IV-1に示した。

表IV-1 夜勤・交代制勤務の勤務形態

	三交代制 (変則含む)	二交代制 (変則含む)	三交代制と 二交代制の ミックス	それ以外の 交代制	当直制	オンコー ル体制	その他	無回答	合計
件数 (%)	161 (39.4)	186 (45.5)	49 (12.0)	1 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	12 (2.9)	409 (100.0)

夜勤・交代制勤務の形態は「二交代制（変則含む）」45.5%が最も多く、次いで「三交代制（変則含む）」39.4%、「三交代制と二交代制のミックス」12.0%となっていた。

### 2. 三交代制勤務の状況

#### 1) 三交代制勤務の拘束時間

三交代制勤務者（「三交代制と二交代制のミックス」を含む）210名について、日勤、準夜勤、深夜勤の拘束時間を表IV-2-1に示した。

表IV-2-1) 三交代制勤務の拘束時間

	8時間30分 未満	8時間30分- 8時間45分 未満	8時間45分- 9時間未満	9時間以上	無回答	合計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
日勤の拘束時間	2 (1.0)	109 (51.9)	69 (32.9)	17 (8.1)	13 (6.2)	210 (100.0)
準夜勤の拘束時間	23 (11.0)	104 (49.5)	69 (32.9)	1 (0.5)	13 (6.2)	210 (100.0)
深夜勤の拘束時間	1 (0.5)	110 (52.4)	65 (31.0)	21 (10.0)	13 (6.2)	210 (100.0)



## 2) 三交代制勤務の休憩時間

三交代制勤務者（「三交代制と二交代制のミックス」を含む）210名について、各勤務帯の休憩時間を表IV-2-2)に示した。ただし、深夜勤は休憩時間と仮眠時間の計である。

表IV-2-2) 三交代制勤務の休憩時間

	日勤		準夜勤		深夜勤	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
15- 30分未満	0	(0.0)	1	(0.5)	0	(0.0)
30- 45分未満	0	(0.0)	2	(1.0)	2	(1.0)
45- 60分未満	55	(26.2)	68	(32.4)	52	(24.8)
60- 75分未満	142	(67.6)	126	(60.0)	141	(67.1)
75- 90分未満	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
90- 105分未満	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.5)
105- 120分未満	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
120分	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.5)
無回答	13	(6.2)	13	(6.2)	13	(6.2)
合計	210	(100.0)	210	(100.0)	210	(100.0)

## 3. 二交代制勤務の状況

### 1) 二交代制勤務の日勤の拘束時間

二交代制勤務者（「三交代制と二交代制のミックス」を含む）235名について、日勤の拘束時間を表IV-3-1)に示した。

表IV-3-1) 二交代制勤務の日勤の拘束時間

	8時間30分未満	8時間30分-8時間45分未満	8時間45分-9時間未満	9時間以上	無回答	合計
件数	15	96	73	31	20	235
(%)	(6.4)	(40.9)	(31.1)	(13.2)	(8.5)	(100.0)

拘束時間は「8時間30分未満」が6.4%、「8時間30分-8時間45分未満」40.9%、「8時間45分-9時間未満」31.1%、「9時間以上」13.2%となっていた。

### 2) 二交代制勤務の日勤の休憩時間

二交代制勤務者（「三交代制と二交代制のミックス」を含む）235名について、日勤の休憩時間を表IV-3-2)に示した。

表IV-3-2) 二交代制勤務の日勤の休憩時間

	日勤の休憩時間	
	件数	(%)
15- 30分未満	1	(0.4)
30- 45分未満	1	(0.4)
45- 60分未満	59	(25.1)
60- 75分未満	141	(60.0)
75- 90分未満	0	(0.0)
90- 105分未満	0	(0.0)
105- 120分未満	0	(0.0)
120分	13	(5.5)
無回答	20	(8.5)
合計	235	(100.0)

### 3) 二交代制勤務の夜勤の拘束時間

二交代制勤務者（「三交代制と二交代制のミックス」を含む）235名について、夜勤の拘束時間を表IV-3-3）に示した。

表IV-3-3) 二交代制勤務の夜勤の拘束時間

	12時間以上 16時間未満	16時間以上 20時間以下	無回答	合計
件数 (%)	22 (9.4)	193 (82.1)	20 (8.5)	235 (100.0)

拘束時間は「12～16時間未満」9.4%、「16～20時間以下」82.1%となっていた。

### 4) 二交代制勤務の夜勤の休憩時間・仮眠時間

二交代制勤務者（「三交代制と二交代制のミックス」を含む）235名について、二交代制勤務の夜勤の休憩時間・仮眠時間を表IV-3-4）に示した。

表IV-3-4) 二交代制勤務の夜勤の休憩時間・仮眠時間

	夜勤の休憩・仮眠時間の計		仮眠時間	
	件数	(%)	件数	(%)
- 15分未満	0	(0.0)	25	(10.6)
15- 30分未満	0	(0.0)	0	(0.0)
30- 45分未満	1	(0.4)	1	(0.4)
45- 60分未満	1	(0.4)	3	(1.3)
60- 75分未満	6	(2.6)	62	(26.4)
75- 90分未満	0	(0.0)	2	(0.9)
90- 105分未満	55	(23.4)	73	(31.1)
105- 120分未満	27	(11.5)	6	(2.6)
120- 135分未満	81	(34.5)	40	(17.0)
135- 150分未満	8	(3.4)	0	(0.0)
150- 165分未満	23	(9.8)	2	(0.9)
165- 180分未満	3	(1.3)	0	(0.0)
180分以上	10	(4.3)	1	(0.4)
無回答	20	(8.5)	20	(8.5)
合計	235	(100.0)	235	(100.0)

休憩・仮眠時間数の計が「120分未満」の割合は38.3%、仮眠時間数「120分未満」の割合は73.2%となっていた。

#### 4. 勤務パターンの数

回答者全員について、勤務形態別（三交代制・二交代制・三交代制と二交代制のミックス）に設定されている勤務パターンの数を表IV-4に示した。

表IV-4 勤務パターンの数[勤務形態別]

		2パターン	3パターン	4-5パターン	6-7パターン	8-9パターン	10パターン以上	無回答	合計
三交代制 (変則含む)	件数 (%)	0 (0.0)	76 (47.2)	57 (35.4)	8 (5.0)	3 (1.9)	0 (0.0)	17 (10.6)	161 (100.0)
二交代制 (変則含む)	件数 (%)	34 (18.3)	31 (16.7)	61 (32.8)	16 (8.6)	10 (5.4)	8 (4.3)	26 (14.0)	186 (100.0)
三交代制と二交代制のミックス	件数 (%)	0 (0.0)	11 (22.4)	22 (44.9)	5 (10.2)	2 (4.1)	2 (4.1)	7 (14.3)	49 (100.0)
合計	件数 (%)	35 (8.6)	119 (29.1)	145 (35.5)	30 (7.3)	15 (3.7)	10 (2.4)	55 (13.4)	409 (100.0)

勤務形態を上回る勤務パターン数をもつ看護単位の割合をみると、三交代制では「4パターン以上」が42.2%、二交代制では「3パターン以上」が67.7%となっていた。

#### V. 夜勤時の仮眠の環境

##### 1. 仮眠専用の個室の有無

回答者全員について、看護職のための仮眠専用の個室の有無を表V-1に示した。

表V-1 仮眠専用の個室の有無

	看護職のための仮眠専用の個室の有無			合計
	ある	ない	無回答	
件数 (%)	164 (40.1)	233 (57.0)	12 (2.9)	409 (100.0)

##### 2. 個室の数の確保、設置場所、ベッドとシーツに関する状況

仮眠専用の個室があると回答した164名について、個室は必要な数が確保されているか、個室の設置場所、個室にはベッドがあり、利用者ごとに交換されるシーツ・掛布が用意されているかに関する状況を表V-2に示した。

表V-2 個室の数の確保、設置場所、ベッドとシーツに関する状況

	個室は必要な数が確保されているか			個室の設置場所			個室にはベッド、利用者ごとに交換されるシーツ・掛布が用意されているか			回答者
	確保されている	確保されていない	無回答	看護単位内または隣接	看護単位から離れている	無回答	用意されている	用意されていない	無回答	合計
件数 (%)	109 (66.5)	54 (32.9)	1 (0.6)	107 (65.2)	56 (34.1)	1 (0.6)	115 (70.1)	47 (28.7)	2 (1.2)	164 (100.0)

必要な数が確保されている割合は66.5%にとどまっていた。また、個室がある場合の設置場所は「看護単位（病棟）内または隣接」が65.2%、個室にはベッドがあり、利用者ごとに交換されるシーツ・掛布が「用意されている」は70.1%となっていた。

## VI. 勤務計画表

### 1. 勤務計画表の作成基準の有無

#### 1) 勤務計画表の作成基準の有無

看護部長調査、看護師長調査、スタッフ調査における、「夜勤時間数」「夜勤回数」「夜勤の連続日数」等に関する勤務計画表の作成基準の有無を表VI-1-1)に示した。ただし、スタッフは三交代制、二交代制勤務をしている者に限定している。

表VI-1-1) 勤務計画表の作成基準の有無

	看護部長			看護師長				スタッフ		
	病院基準あり	病院基準なし	合計	病院基準あり	病院基準なし	師長裁量あり	合計	病院基準あり	病院基準なし	合計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
夜勤時間数	10 (52.6)	9 (47.4)	19 (100.0)	302 (73.8)	47 (11.5)	87 (21.3)	409 (100.0)	1146 (42.5)	986 (36.6)	2696 (100.0)
夜勤回数	8 (42.1)	10 (52.6)	19 (100.0)	222 (54.3)	73 (17.8)	163 (39.9)	409 (100.0)	1114 (41.3)	1017 (37.7)	2696 (100.0)
夜勤の連続日数	10 (52.6)	9 (47.4)	19 (100.0)	173 (42.3)	96 (23.5)	192 (46.9)	409 (100.0)	1289 (47.8)	852 (31.6)	2696 (100.0)
前の勤務と次の勤務との時間間隔	12 (63.2)	6 (31.6)	19 (100.0)	230 (56.2)	75 (18.3)	130 (31.8)	409 (100.0)	1067 (39.6)	1024 (38.0)	2696 (100.0)
夜勤時の休憩・仮眠時間数	18 (94.7)	0 (0.0)	19 (100.0)	348 (85.1)	22 (5.4)	19 (4.6)	409 (100.0)	1397 (51.8)	888 (32.9)	2696 (100.0)
夜勤明け翌日の休日	7 (36.8)	11 (57.9)	19 (100.0)	140 (34.2)	104 (25.4)	179 (43.8)	409 (100.0)			
連続勤務日数	12 (63.2)	5 (26.3)	19 (100.0)	278 (68.0)	45 (11.0)	109 (26.7)	409 (100.0)			
2連休の回数	6 (31.6)	13 (68.4)	19 (100.0)	45 (11.0)	146 (35.7)	271 (66.3)	409 (100.0)			
週末の2日以上 の連休回数	2 (10.5)	17 (89.5)	19 (100.0)	14 (3.4)	176 (43.0)	257 (62.8)	409 (100.0)			
業務開始時刻が 早くなるローテーションを避ける	8 (42.1)	10 (52.6)	19 (100.0)	166 (40.6)	107 (26.2)	130 (31.8)	409 (100.0)			
勤務計画表 の提示時期	18 (94.7)	1 (5.3)	19 (100.0)	320 (78.2)	25 (6.1)	70 (17.1)	409 (100.0)			

看護師長についてみると、「夜勤時の休憩・仮眠時間数」に関しては、「病院基準あり」が85.1%に対して、「師長裁量あり」は4.6%、「週末の2日以上  
の連休回数」に関しては、「病院基準あり」が3.4%に対して、「師長裁量あり」は62.8%となっているなど、病院基準の有無に師長裁量で対応している可能性がみられる。

## 2. 勤務計画表作成時の優先事項

回答者全員について、表中の12項目のうち、勤務計画表作成時に優先する項目および3番目までに優先する項目として回答された割合を表VI-2に示した。

表VI-2 勤務計画表作成時に優先する項目

	人数	リーダー	職員の経験・能力のバランス	夜勤回数	休日数	有給休暇日数	勤務間隔を十分にあげる	職員の体調	本人の希望	職員の家族責任 (育児・介護等)	業務開始時刻が遅くなる ローテーション	その他	無回答	合計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
1番に優先する項目	107 (26.2)	19 (4.6)	71 (17.4)	12 (2.9)	13 (3.2)	0 (0.0)	5 (1.2)	2 (0.5)	163 (39.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.5)	15 (3.7)	409 (100.0)
3番目までに優先する項目	253 (61.9)	56 (13.7)	282 (68.9)	165 (40.3)	69 (16.9)	3 (0.7)	26 (6.4)	11 (2.7)	296 (72.4)	7 (1.7)	3 (0.7)	6 (1.5)	15 (3.7)	409 (100.0)

勤務表作成時に看護師長が優先する項目は「本人の希望」39.9%が最も多く、次いで「人数」26.2%、「職員の経験・能力のバランス」17.4%となっていた。

## 3. 勤務計画表作成時の希望（申請）と事前提示・提示期間

### 1) 勤務計画表作成時にスタッフからの希望（申請）を受け付ける項目

回答者全員について、勤務計画表作成時にスタッフからの希望（申請）を受け付ける項目を勤務形態別に表VI-3-1)に示した。

表VI-3-1) 勤務計画表作成時にスタッフからの希望(申請)を受け付ける項目

		夜勤回数	平日の休日	週末の休日 (土・日)	連続した休日	有給休暇	その他	スタッフからの希望は受け付けていない	無回答	合計
三交代制 (変則含む)	件数 (%)	45 (28.0)	142 (88.2)	142 (88.2)	145 (90.1)	81 (50.3)	31 (19.3)	0 (0.0)	1 (0.6)	161 (100.0)
二交代制 (変則含む)	件数 (%)	67 (36.0)	165 (88.7)	158 (84.9)	170 (91.4)	78 (41.9)	27 (14.5)	0 (0.0)	3 (1.6)	186 (100.0)
三交代制と二交代制のミックス	件数 (%)	16 (32.7)	45 (91.8)	40 (81.6)	43 (87.8)	14 (28.6)	14 (28.6)	0 (0.0)	1 (2.0)	49 (100.0)
全体	件数 (%)	129 (31.5)	360 (88.0)	346 (84.6)	365 (89.2)	176 (43.0)	73 (17.8)	0 (0.0)	9 (2.2)	409 (100.0)

スタッフからの希望を受け付ける項目は「連続した休日」が89.2%と最も多く、次いで「平日の休日」が88.0%、「週末の休日（土・日）」84.6%の順になっていた。

## 2) 勤務計画表作成時にスタッフからの希望（申請）を受け付ける項目数

回答者全員について、勤務計画表作成時にスタッフからの希望（申請）を受け付ける項目数を勤務形態別に表VI-3-2) に示した。

表VI-3-2) 勤務計画表作成時にスタッフからの希望(申請)を受け付ける項目数

		1個	2個	3個	4個	5個	6個以上	いくつでも/特に上限はない	無回答	合計
三交代制 (変則含む)	件数 (%)	10 (6.2)	29 (18.0)	34 (21.1)	20 (12.4)	11 (6.8)	6 (3.7)	36 (22.4)	15 (9.3)	161 (100.0)
二交代制 (変則含む)	件数 (%)	7 (3.8)	47 (25.3)	39 (21.0)	26 (14.0)	19 (10.2)	10 (5.4)	27 (14.5)	11 (5.9)	186 (100.0)
三交代制と二交代制のミックス	件数 (%)	0 (0.0)	10 (20.4)	15 (30.6)	12 (24.5)	4 (8.2)	0 (0.0)	6 (12.2)	2 (4.1)	49 (100.0)
合計	件数 (%)	17 (4.2)	86 (21.0)	91 (22.2)	59 (14.4)	36 (8.8)	16 (3.9)	69 (16.9)	35 (8.6)	409 (100.0)

## 3) 翌月分の勤務計画表の事前提示時期

回答者全員について、翌月分の勤務計画表の事前提示時期を表VI-3-3) に示した。

表VI-3-3) 翌月分の勤務計画表の事前提示時期

	5日前までに提示	6-10日前に提示	11-15日前に提示	16-20日前に提示	21-25日前に提示	26-30日前に提示	31日以上前に提示	無回答	合計
件数 (%)	19 (4.6)	224 (52.1)	78 (17.4)	24 (5.9)	12 (2.2)	24 (5.1)	8 (1.2)	20 (11.5)	409 (100.0)

無回答には、2か月分を8週間前に提示している2件を含んでいる。

## Ⅶ. 勤務計画表作成・支援ソフトウェアの導入

### 1. 勤務計画表作成・支援ソフトウェアの導入状況

回答者全員について、管理している看護単位の勤務計画表作成・支援ソフトウェアの導入状況を表Ⅶ-1に示した。

表Ⅶ-1 勤務計画表作成・支援ソフトウェアの導入状況

	導入している	導入していない	無回答	合計
件数 (%)	306 (74.8)	92 (22.5)	11 (2.7)	409 (100.0)

### 2. 勤務計画表作成・支援ソフトウェア導入による負担

勤務計画表作成・支援ソフトウェアを導入していると回答した306名について、ソフトウェア導入による負担を表Ⅶ-2に示した。

表Ⅶ-2 ソフトウェア導入による負担

	導入以前より負担が少ない	導入以後は負担が大きい	かわらない	以前から導入しているためわからない	無回答	全体
件数 (%)	75 (24.5)	5 (1.6)	90 (29.4)	130 (42.5)	6 (2.0)	306 (100.0)

「以前から導入しているためわからない」42.5%が最も多く、「かわらない」29.4%、「導入以前より負担が少ない」24.5%となっていた。

### 3. 勤務計画表作成・支援ソフトウェア導入の希望

勤務計画表作成・支援ソフトウェアを導入していないと回答した92名について、ソフトウェア導入の希望を表Ⅶ-3に示した。

表Ⅶ-3 ソフトウェア導入の希望

	導入してほしい	導入の希望はない	わからない	無回答	合計
件数 (%)	28 (30.4)	29 (31.5)	32 (34.8)	3 (3.3)	92 (100.0)

導入の希望は「わからない」が34.8%と最も多く、「導入の希望はない」31.5%、「導入してほしい」30.4%となっていた。

## Ⅷ. 夜勤の免除・軽減措置の状況

### 1. 夜勤の免除・軽減措置の状況

夜勤の免除・軽減措置を受けている看護職員数の記入があった回答者について、病棟単位での夜勤の免除・軽減措置の状況を表Ⅷ-1に示した。

表Ⅷ-1 夜勤の免除・軽減措置の状況

		0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	合計
		件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
夜勤の免除	健康状態	193 (69.2)	73 (26.2)	10 (3.6)	2 (0.7)	0 (0.0)	1 (0.4)	279 (100.0)
	年齢	271 (97.1)	5 (1.8)	1 (0.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.7)	279 (100.0)
	母性保護	206 (73.8)	55 (19.7)	12 (4.3)	4 (1.4)	1 (0.4)	1 (0.4)	279 (100.0)
	育児 (3歳未満)	174 (62.4)	76 (27.2)	17 (6.1)	8 (2.9)	2 (0.7)	2 (0.7)	279 (100.0)
	育児 (3歳-就学前)	226 (81.0)	40 (14.3)	11 (3.9)	1 (0.4)	1 (0.4)	0 (0.0)	279 (100.0)
	育児(学童)	268 (96.1)	9 (3.2)	2 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	279 (100.0)
	介護	274 (98.2)	5 (1.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	279 (100.0)
	通学	277 (99.3)	2 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	279 (100.0)
夜勤の軽減措置	健康状態	133 (75.6)	30 (17.0)	10 (5.7)	3 (1.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	176 (100.0)
	年齢	163 (92.6)	11 (6.3)	1 (0.6)	1 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	176 (100.0)
	母性保護	135 (76.7)	33 (18.8)	7 (4.0)	1 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	176 (100.0)
	育児 (3歳未満)	131 (74.4)	35 (19.9)	9 (5.1)	1 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	176 (100.0)
	育児 (3歳-就学前)	136 (77.3)	31 (17.6)	9 (5.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	176 (100.0)
	育児(学童)	159 (90.3)	15 (8.5)	2 (1.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	176 (100.0)
	介護	173 (98.3)	2 (1.1)	1 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	176 (100.0)
	通学	171 (97.2)	4 (2.3)	1 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	176 (100.0)

### 2. 勤務体制の維持に支障がない夜勤免除者の正規職員数に占める割合

性別および年齢階級別の正規職員人数を回答した者について、勤務体制の維持に支障がない夜勤免除者の正規職員数に占める割合を表Ⅷ-2に示した。

表Ⅷ-2 勤務体制の維持に支障がない夜勤免除者の正規職員数に占める割合

	0%	5%未満	5-10%未満	10%以上	無回答	合計
件数 (%)	21 (6.5)	101 (31.2)	141 (43.5)	35 (10.8)	26 (8.0)	324 (100.0)



## IX. 勤務計画表に関する支援や教育

### 1. 勤務表作成に関する支援や教育

回答者全員について、看護師長として着任からこれまでに勤務計画表作成に関する支援や教育を受けた状況を表IX-1に示した。

表IX-1 勤務計画表作成に関する支援や教育を受けた状況

	受けた	受けてない	無回答	合計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
勤務表作成マニュアルの配布	288 (70.4)	111 (27.1)	10 (2.4)	409 (100.0)
個別指導	235 (57.5)	164 (40.1)	10 (2.4)	409 (100.0)
夜勤の禁忌・減免内容の説明	227 (55.5)	171 (41.8)	11 (2.7)	409 (100.0)
看護師長の相談相手となる 担当者の明示	284 (69.4)	116 (28.4)	9 (2.2)	409 (100.0)

支援や教育を受けていない割合をみると、「夜勤の禁忌・減免内容の説明」が41.8%と最も多く、次いで、「個別指導」40.1%、「看護師長の相談相手となる担当者の明示」28.4%、「勤務表作成マニュアルの配布」27.1%となっていた。

### 2. 夜勤・交代制勤務に関するスタッフへの支援や教育

回答者全員について、管理している看護単位のスタッフへの夜勤・交代制勤務に関する支援や教育の実施状況を表IX-2に示した。

表IX-2 夜勤・交代制勤務に関するスタッフへの支援や教育の実施状況

	実施している	実施していない	無回答	合計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
夜勤・交代制勤務表作成の趣旨・ 内容の説明	343 (83.9)	55 (13.4)	11 (2.7)	409 (100.0)
夜勤・交代制勤務の健康に対する リスク	300 (73.3)	96 (23.5)	13 (3.2)	409 (100.0)
夜勤・交代制勤務に対応するための 生活上の留意点	308 (75.3)	88 (21.5)	13 (3.2)	409 (100.0)
夜勤終了後の安全な帰宅手段の確保	302 (73.8)	95 (23.2)	12 (2.9)	409 (100.0)

支援や教育を実施していない割合をみると、「夜勤・交代制勤務の健康に対するリスク」23.5%、「夜勤終了後の安全な帰宅手段の確保」23.2%、「夜勤・交代制勤務に対応するための生活上の留意点」21.5%、「夜勤・交代制勤務表作成の趣旨・内容の説明」13.4%の順となっていた。

## X. 夜勤・交代制勤務のリスク

### 1. 夜勤・交代制勤務のリスクに関する研修の受講の有無

回答者全員について、夜勤・交代制勤務のリスクに関する研修の受講の有無を表X-1に示した。

表X-1 夜勤・交代制勤務のリスクに関する研修の受講の有無

	研修を受けたことがある	研修を受けたことはない	無回答	合計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
夜勤・交代制勤務のリスクに関する研修を受けたことがあるか	150 (36.7)	251 (61.4)	8 (2.0)	409 (100.0)

### 2. 労働基準法・労働安全衛生法に関する教育・研修の受講の有無

回答者全員について、労働基準法・労働安全衛生法に関する教育・研修の受講の有無を表X-2に示した。

表X-2 労働基準法・労働安全衛生法に関する教育・研修の受講の有無

	ある	ない	無回答	合計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
労働基準法等に関する教育研修の受講の有無	232 (56.7)	170 (41.6)	7 (1.7)	409 (100.0)

### 3. 夜勤・交代制勤務の疾病リスクに関する知識の有無

回答者全員について、夜勤・交代制勤務の疾病リスクに関する知識の有無を表 X-3 に示した。

表 X-3 夜勤・交代制勤務の疾病リスクに関する知識の有無

	知っている	知らない	無回答	合計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
睡眠障害	402 (98.3)	2 (0.5)	5 (1.2)	409 (100.0)
慢性疲労	403 (98.5)	1 (0.2)	5 (1.2)	409 (100.0)
循環器疾患	316 (77.3)	88 (21.5)	5 (1.2)	409 (100.0)
糖尿病	171 (41.8)	230 (56.2)	8 (2.0)	409 (100.0)
悪性腫瘍	131 (32.0)	269 (65.8)	9 (2.2)	409 (100.0)
月経異常	384 (93.9)	20 (4.9)	5 (1.2)	409 (100.0)

夜勤・交代制勤務の疾病リスクに関して、「知らない」と回答した割合は、「悪性腫瘍」65.8%、「糖尿病」56.2%、「循環器疾患」21.5%が多くなっていた。

#### 4. 夜勤・交代制勤務の負担軽減の方策に関する知識の有無

回答者全員について、夜勤・交代制勤務の負担軽減の方策に関する知識の有無を表X-4に示した。

表X-4 夜勤・交代制勤務の負担軽減の方策に関する知識の有無

	知っている	知らない	無回答	合計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
夜勤回数はなるべく少なくする	380 (92.9)	19 (4.6)	10 (2.4)	409 (100.0)
労働負担の度合いによって、 夜勤時間を短くする	248 (60.6)	149 (36.4)	12 (2.9)	409 (100.0)
11～12時間以上の勤務間隔を確保する	335 (81.9)	65 (15.9)	9 (2.2)	409 (100.0)
2連休の週末休日を配置する	288 (70.4)	108 (26.4)	13 (3.2)	409 (100.0)
日勤→準夜勤、準夜勤→深夜勤のように、 業務開始時刻が遅くなるローテーションとする	290 (70.9)	99 (24.2)	20 (4.9)	409 (100.0)

夜勤・交代制勤務の負担軽減の方策について「知らない」と回答した割合をみると、「労働負担の度合いによって、夜勤時間を短くする」が36.4%と最も高く、次いで「2連休の週末休日を配置する」26.4%、「日勤→準夜勤、準夜勤→深夜勤のように、業務開始時刻が遅くなるローテーションとする」24.2%、「11～12時間以上の勤務間隔を確保する」15.9%、「夜勤回数はなるべく少なくする」4.6%となっていた。

## X I . 労働時間管理

### 1. 看護職の出退勤時刻の把握方法

回答者全員について、看護職の出退勤時刻の把握方法を表 X I - 1 に示した。

表 X I - 1 看護職の出退勤時刻の把握方法

	IC チップ入りID カード	打刻式タイム カード	出勤簿に 捺印・手書き	その他	無回答	合計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
看護職の出退勤時 刻の把握方法	82 (20.0)	57 (13.9)	175 (42.8)	88 (21.5)	7 (1.7)	409 (100.0)

「出勤簿に捺印・手書き」42.8%が最も多く、「その他」21.5%、「IC チップ入り ID カード」20.0%となっていた。

### 2. 時間外勤務に対する事前の指示・命令

回答者全員について、時間外勤務に対する事前の指示・命令の状況を表 X I - 2 に示した。

表 X I - 2 時間外勤務に対する事前の指示・命令の状況

	師長がすべて 指示・命令 している	師長が一部を 指示・命令 している	師長が指示・ 命令する体制 になっていない	その他	無回答	合計
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
時間外勤務に対す る事前の指示・命令	100 (24.4)	241 (58.9)	40 (9.8)	21 (5.1)	7 (1.7)	409 (100.0)

「師長が一部を指示・命令している」58.9%が最も多く、「師長がすべて指示・命令している」24.4%、「師長が指示・命令する体制になっていない」9.8%となっていた。

## **X II. 夜勤・交代制勤務の管理**

夜勤・交代制勤務の管理（勤務体制、勤務表作成、労働時間管理等）について、困難を感じる点や改善したい点を自由記載で質問し、得られた 111 件の回答についてテキスト分析を行った。

回答者の多い順にみると、勤務表作成に関しては、「スタッフの希望を勤務表に反映させること」32件、「特定のスタッフに皺寄せしないこと」30件、「疲労蓄積しない休日を組むこと」25件、「休職者や夜勤免除者の病棟内での代替調整」15件、「法定外の夜勤免除希望への対応」13件、「多様な勤務形態の勤務表作成」12件、「日々、スタッフの質を均等にすること」10件、「既定の休日と有給休暇をつけること」11件、「勤務表の作成の手間や体制による負担」8件となっていた。

また、勤務体制に関しては、「業務量の変動を見越した人員配置」25件、「突然の欠勤者が出ても欠員にしないこと」14件、「休憩・仮眠時間の確保」8件、「患者の安全を守る体制をつくること」5件となっていた。

さらに、労働時間管理に関しては、「超過勤務の削減と研鑽との線引き」10件、「スタッフの長期的な健康保持」9件、「長時間夜勤の回避や負担軽減」7件となっていた。

なお、これらの困難を感じる点や改善したい点の背景として、人員不足や人材不足に言及している回答が多くみられた。